

# よつば通信



令和8年3月18日  
魚津市立よつば小学校  
第7号

URL [www.yotsuba-e.tym.ed.jp](http://www.yotsuba-e.tym.ed.jp)

## 春の息吹を感じます。

ふと花壇を見ると、チューリップの芽が顔を出していました。風雪に耐えて、春を待っていたのだなと思うと、ふと「がんばったね」と声をかけたくくなりました。どんな色の花を咲かせるのだろうと、その成長が今から楽しみでなりません。

さて、3月16日(月)、抜けるような青空の下、90名の6年生が晴れやかに巣立っていきました。そこにいてくれるだけで、安心感があり、周りにいる下級生がぱっと笑顔になるような大きな存在でした。

日々の委員会活動で見せた最高学年としての責任感、運動会で発揮した頼もしいまでのリーダーシップ、縦割りで活動する集会での下級生を包み込むようなやさしさ。たくさんの仲間と過ごした6年間で培った生きる力そのものであると思います。

90人いたら90とおりのよさがあります。人と比較して焦ることなく、自分のあゆみを大切に、自信をもって次の一步を踏み出してほしいと願っています。



## 微笑ましいエピソードに心が和みます。

朝、お子さんを送ってこられたお母さんと校門前でちょっと立ち話。お母さんは、手を振りながら玄関へ行く我が子を見送りながら「子どもを見ていたら、学校が楽しいのだなと分かります。」とお話してくださいました。毎日がよいことばかりではありません。心配なこともきっとあると思うのですが、こんな言葉を聞くと、ほっとして嬉しくなります。玄関へのうしろ姿を見送りながら心の中でつぶやきます。

「今日も来てくれてありがとう。」

「遅くなっちゃった！」と笑顔で校門に向かって走ってくる6年生。ちょうど一緒になった下級生に「行くよ！」と声をかけ、軽やかに玄関に向かって走っていきました。

「さあ、私も頑張ろう」と元気をもらいました。



地域の方からメールをいただきました。

～以下メール文～

下校時の見守りをしている信号待ちの間に、高齢者の方が、歩道に雪があるからか、腰をかがめて車道を歩いてくるのを見かけた1年生の男の子が、10m以上離れているのに「おばあさん、大丈夫ですか～。気を付けて～。」と。びっくりして「なんてお利口さんなの。」と言った途端、信号が変わり、私に「さようなら。」と挨拶して渡っていきました。

その高齢者の方が知人だったので、その話をすると「あら、聞こえなくて。ありがとう。嬉しいです。」とのこと。本当に微笑ましいひとコマでした。

このようなエピソードを大切に思ってメールをくださったことがとても嬉しくて、よつばっ子は、温かく見守っていただいているなど感謝の気持ちを新たにしました。

悪いところは見えるもの いいところは探さないと見つからないもの  
子どもたちが、自分の「ステキ(よさ)」に気付く瞬間がたくさんありますように